

# 各種福祉計画策定のための 市民アンケート調査の結果について

市では、市民の皆さんの意向を市政に反映させるため、各種アンケート調査を実施しました。前号の「市民意識調査」に引き続き、今号では、「障害者基本計画策定のための市民アンケート調査」、「健康づくり推進プラン策定のための市民アンケート調査」、「子どもの生活と家庭の実態・意向調査」、「介護保険事業計画(第2期)策定に係る各種調査」、「高齢者保健福祉計画策定のための市民アンケート調査」、「地域福祉計画策定のための団体アンケート調査」の調査結果についてお知らせします。

なお、報告書の本編は、市内の図書館、田無庁舎・保谷庁舎の情報公開コーナーでご覧いただけます。また、市のホームページでもご覧いただけます。

## 障害者基本計画策定のための市民アンケート調査

望まれる障害者施策  
身体障害者調査では、障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりの推進をあげる人が53・2割と最も多く、視覚障害では「ホームヘルパー

の派遣など在宅生活支援サービスの充実」をあげる割合が42・9割と他の障害に比べて高く、聴覚・言語障害では「インターネットを利用すること」が18・8割と他の障害に比べて若干高くなっています。知的障害者調査では、「障害のある人が仕事につけるよ

うに手助けすること」をあげる人が65・5割と最も多く、「障害者や高齢者のやさしい福祉のまちづくりを進めること」(60・5割)、「障害のある子どもたちの可能性を大きく伸ばす教育を進めること」(57・6割)と続いています。

精神障害者調査では、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図る」をあげる

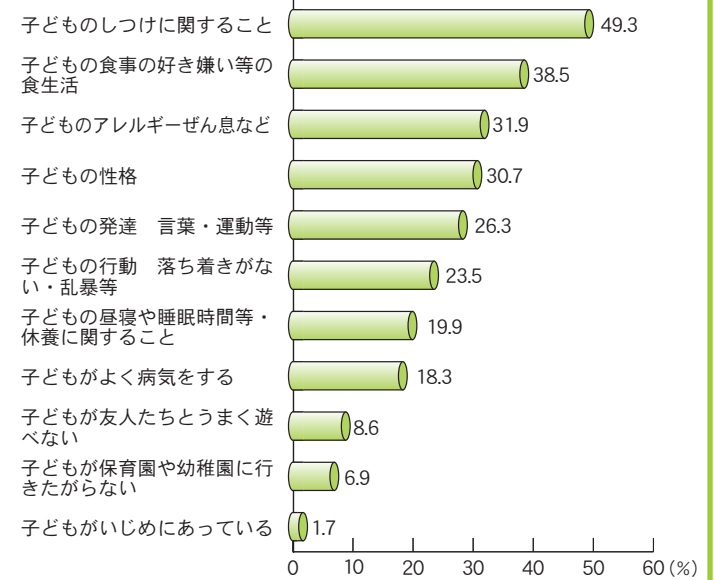
人が47・8割と最も多く、「障害の発生の予防とともに早期発見・早期治療を図る」(43・5割)、「障害のある人となんい人の交流を推進し、相互理解を深める」(40・6割)と続いています。

難病者調査では、「障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりの推進」をあげる人が46・3割と最も多く、次いで「難病者の働く場の確保や就労の定着化」(32・7割)、「在宅生活支援サービスの充実」(27・3割)と続いています。

健康づくり推進プラン策定のための市民アンケート調査

## 健康づくり推進プラン策定のための調査

### 子育てにおける不安や悩みの理由(母子保健調査) グラフ2



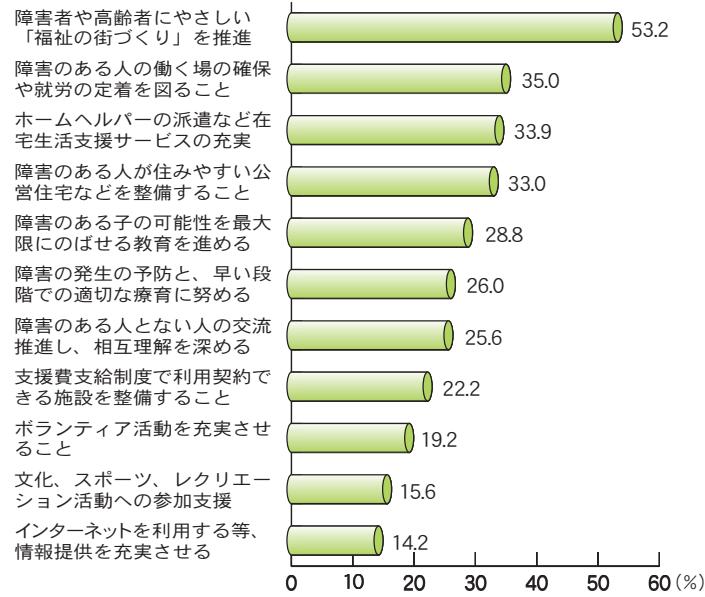
### 西東京市は生活しやすいですか 表2

	成人・老人保健調査	母子保健調査
そう思う	3.2%	5.1%
まあそう思う	11.0%	19.0%
どちらともいえない	44.0%	41.0%
あまりそう思わない	25.6%	23.6%
そう思わない	11.3%	10.1%
無回答	4.9%	1.2%

成人・老人保健調査では「健康に何らかの問題を抱える人にとっての生活のしやすさ」、母子保健調査では「子育てのしやすさ」について質問しました。

## 障害者基本計画策定のための調査

### 望まれる障害者施策 (身体障害者調査) グラフ1



### 働くために大切な環境整備は何ですか 表1

	身体障害者調査	知的障害者調査	精神障害者調査	難病者調査
1位	健康状態にあわせて働き方ができること(43%)	障害のある人に適した仕事があること(65%)	自分の家の近くに働く場があること(55.1%)	健康状態にあわせて働き方ができること(61.7%)
2位	自分の家の近くに働く場があること(38.8%)	自分の家の近くに働く場があること(64.4%)	健康状態にあわせて働き方ができること(53.6%)	自分の家の近くに働く場があること(46.9%)
3位	障害のある人に適した仕事が開発されること(34.5%)	事業者等が障害者の雇用について十分理解があること(55.6%)	障害のある人に適した仕事が開発されること(42%)	事業者等が難病者の雇用について十分理解があること(35.4%)

健康づくり推進プラン策定  
成人・老人保健調査では、健康について今までに専門家から指摘されたこととして「コレステロールや中性脂肪が高いが40割と最も多く、これに歯周病歯槽膿漏(32・7割)、「血圧が高い」(29・7割)、「太りすぎ」(29・8割)等が続いています。性別・年齢別にみると、特に男性の40歳代で「コレステロールや中性脂肪が高い」(63・4割)、「太りすぎ」(46・2割)、「酒を控える」(39・8割)等の生活習慣病の前兆となる指摘がされている割合が高くなっています。

母子保健調査では、子どもの子育てについては、「不安や悩みがあった」と「まあ不安や悩みがあった」とを合わせて7割以上となっていています。反対に、「不安や悩みはなかった」と「あまり不安や悩みはなかった」とを合わせた割合は、2割程度となっています。

健康づくり推進プラン策定  
成人・老人保健調査では、健康について今までに専門家から指摘されたこととして「コレステロールや中性脂肪が高いが40割と最も多く、これに歯周病歯槽膿漏(32・7割)、「血圧が高い」(29・7割)、「太りすぎ」(29・8割)等が続いています。性別・年齢別にみると、特に男性の40歳代で「コレステロールや中性脂肪が高い」(63・4割)、「太りすぎ」(46・2割)、「酒を控える」(39・8割)等の生活習慣病の前兆となる指摘がされている割合が高くなっています。

母子保健調査では、子どもの子育てについては、「不安や悩みがあった」と「まあ不安や悩みがあった」とを合わせて7割以上となっていています。反対に、「不安や悩みはなかった」と「あまり不安や悩みはなかった」とを合わせた割合は、2割程度となっています。

健康推進課(保谷内線236)  
子どもの生活と家庭の実態・意向調査  
未就学児の保護者  
『子どもを育てるのは楽しい』



コール田無「ピッコロハウス」で

また『子育てで悩むこと』の  
上位は、「子どもの育て方しつけ方」(51・9割)、「自分の時間がない」(46・8割)、「子どもの健康」(41・5割)でした。小学生の保護者  
『子どものこと』でつた